

交 9/28 交通安全を呼び掛け

交通安全キャンペーン

交通事故を減らすことを目的に、フィール幸田店で交通安全キャンペーンを実施しました。交通指導員、岡崎警察署員に加え、交通安全協会所属の京ヶ峰岡田病院、日軽物流(株) 幸田営業所、(株)石原組、レンテック大敬(株) 幸田営業所、(株)エアウィーヴ 幸田ロジスティクスセンター、(株)エアウィーヴ 幸田工場の6事業所の人たちにも参加していただき、歩行者保護や早めのライト点灯を呼び掛けながら、啓発品を配布しました。10月19日には目標の交通死亡事故ゼロ日数500日を達成しました。



↑啓発品を配布する様子



↑白熱する試合

ス 10/3 スポーツの秋

町民スポーツ大会 少年サッカー

第55回町民スポーツ大会が町内の各体育施設で行われ、中央公園では少年サッカー大会を開催しました。試合は小学1・2年生の部、小学3・4年生の部、小学5・6年生の部に分かれて実施しました。どのチームも練習の成果を発揮して、熱い試合が繰り広げられました。ゴールが決まるとチームメイトや観客から大きな拍手が湧き上がりました。

農 10/3~7 業を体験

若葉のふるさと協力隊事業

若葉のふるさと協力隊として大阪府から武仲計志たけなか けいしさんが派遣されました。若葉のふるさと協力隊とは農作業の手伝いや地域行事への参加を通じて、農山村の暮らしにふれる短期間のボランティアプログラムです。本年度は若葉のふるさと協力隊よりも活動期間が1年と長い、緑のふるさと協力隊きいろのふるさとの西條大地さいじょう だいちさんも派遣されています。2人は農業体験として、地元農家の人に教わりながらナシや筆柿の収穫を行いました。筆柿の収穫について、武仲さんは「最初は難しかったけれど、だんだんと慣れてきて片手で収穫できるようになりました」と話してくれました。



↑筆柿を収穫する西條さん(左)と武仲さん(右)



大 10/11 きく育ったよ

大草保育園 芋掘り

大草保育園の園児たちが、サツマイモの収穫を行いました。サツマイモの苗は6月に園内の畑に植えたもので、大切に育ててきました。園児たちはサツマイモを折らないように、周りから優しく土を掘っていました。「すっごく大きいおいも見つけたよ!」「こっちは小さくてかわいいおいもだよ!」と楽しみながらたくさん収穫をしました。収穫したサツマイモは焼き芋会でおいしく食べました。



↑大きなサツマイモ発見!



↑使用方法を教わる様子

地 10/13 域防災力の向上を目指して

可搬式小型動力ポンプの引渡式

消防本部で、芦谷区防災会と幸田区防災会へ可搬式小型動力ポンプの引き渡しを行いました。この可搬式小型動力ポンプは県の南海トラフ地震等対策事業費補助金を活用し、整備したものです。

可搬式小型動力ポンプのほか、消防用ホースや吸水管、管そう、ノズルなどの装備一式が引き渡され、消防署員からポンプなどの使用方法を教わっていました。

地 10/22 域の安心・安全見守り隊!

いきいきサロンでかかし制作

町生活学校が中心となり、いきいきサロンでかかしが制作され、芦谷公民館付近に飾られました。いきいきサロンは新型コロナウイルスの影響でしばらく開催できずにいましたが、久しぶりの再開となり、制作にも気合いが入りました。かかしはいきいきサロンの参加者18人で14体制作し、参加者の中には102歳の人もいました。新型コロナウイルスの終息を願い、今年アマビエのかかしも仲間入りしています。



↑飾られたかかしといきいきサロン参加者の皆さん

←協力してかかしを制作